

ゴ ク ロー サン  
**5 9 6 3** **ハート通信**

VOL. 50

**竹原運輸株式会社**

発行日 平成 24 年 11 月 15 日

★事務所スタッフからの一言



皆様、日頃は格別のご愛顧を賜りまして誠にありがとうございます。心より感謝を申し上げます。

最近、KJ 法の開発者である川喜田二郎氏の「創造と伝統」という本に出会いました。その中で印象的であった話をご紹介します。（話は私の勝手な解釈もありますが・・・）

現在では仕事の細分化、分業化、専門化が進み、表面的に効率がよくなったように見えるが、そこには創造性が失われていっている。マニュアル化などは、そのいい例ではないだろうか？

マニュアルどおりにやっていたら、「お客様の役に立つ」「感動してもらえる」ということは無い。そつが無くクレームにならない、というだけである。

高度消費社会に突入した日本で、そのレベルの仕事ではお客様の支持を受け続けることは難しい。そこで「専門性」＋「創造性」が必要になる。

創造性のことを川喜田二郎氏は、「ひと仕事」と呼んでいる。  
仕事を頼まれたら、必要な業務＋「ひと仕事」するのだ、と。

この「ひと仕事」をしてもらうコツは、  
「この仕事は君に任せるよ」と部下を信頼して任せることだと・・・。

竹原運輸は、「ひと仕事」できる会社になっていこうと思います。

竹原 和行

先月10月28日（日曜日）社内の全体安全大会を開催しました。

今回初めて、社内安全衛生環境委員会の安全、環境、教育各部会が各々のこれまでの活動報告、そして今後の具体的取組みを発表しました。

安全部会は主に車内の美化チェックの結果について、環境部会は構内の整備について、教育部会は新入社員教育についての発表でした。大勢の前で発表することに慣れてないメンバーが一生懸命発表してくれましたが、かなり発表者は緊張している様子でした。本人にとっては大変良い経験になったと思います。この経験が安全に対する緊張感、意識改革につながるものと確信しています。

その後、中部交通共済福井支部に依頼しまして、ドライブレコーダーに記録された実際の事故映像をもとに、その事故の過失割合をグループ討議し発表しました。実際の事故映像を見ての研修ですから、これは非常に効果的な全員の危険予知トレーニングになりました。

その中で歩行者死亡事故の映像は本当に衝撃的でした。夜間の車通り激しい幹線道路でヘッドライト同士が重なり、ものが一瞬見えなくなるグレア現象により、右方からの歩行者に全く気付かず、歩行者と衝突した事故です。

映像を見る限り誰でも衝突してしまいそうな状況です。事故後、運転手は逮捕拘束されています。

人との衝突事故では車側が何の過失もないことは有り得ません。「急に飛び出してきた」とか「こんな所は横断する所ではない」等事故を起こした言い訳は一切通用しないんだと思いました。直前飛び出し、幹線道路、横断禁止区域、いかなる場合でも常に歩行者を意識して運転しないと大変な事故になる場合があります。

どうか歩行者をはじめとする交通弱者には、十分過ぎるぐらいの危険予知意識、保護意識を持たなければなりません。その点を痛切に感じました。

ご安全に！



竹原 正和

### 《物流会議》

お客様は、物流品質に対して厳格な目で輸送の「質」を重視されるようになってきておられます。お客様の物流会議に出席させてもらって製品の特性から、集品、荷姿と配送の注意点に至るまで直接指導を頂きます。

当社は、それに基づき参考にしながら乗務員の教育と改善に真剣に取り組んでいきます。乗務員に対しては、輸送業務に求められるスキルを指導して頂き、情報、安全運行、積荷の扱い、納品時間、お客様先でのマナー等の指導も受けます。さらにお客様の多くは、車両の運行対策や乗務員の拘束時間などコンプライアンスの面からも厳格に指導を頂くこともあります。

このようにしてお客様との一体感を持ち、育むポイントはお互いの顔の見える状況を多く作ることはないかと思えます。会議の中でも私達が抱える効率面やコスト面での悩みごとは意外とお客様の悩みごとと共通しているケースがあります。

このような課題も勇気を持って意見、提案をさせて頂き、相談させて頂くと必ず問題解決の共通点が見出せていきます。

私達は、制限された就労時間の中で輸送の品質を高めて行くために日々の業務の中で努力を行って行きますが、コンプライアンスと品質を重視して行くとすると、かつてのような「力自慢」「作業の早さ自慢」はご法度であり、絶対に「無理をしないこと」を原則とした意識改革が必要となって来るのではないかと思います。

このように常にお客様と一体となって輸送の品質のアップを図り、安全運行、安全作業に努めて行くことで、私達がお客様のニーズにお答えして行く使命だと考えております。

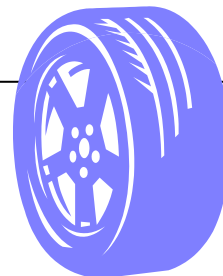
橋本 勝

冬本番も徐々に近づき、皆様の冬の準備はいかがでしょう？ 早めのスタッドレスタイヤへの交換で、いざという時に慌てなくていいよう準備して下さい。また交換の際は、空気圧のチェックも忘れずをお願い致します。

冬になり気温が低下することにより車はいろいろな不具合が生じてくる可能性が高い為、日常点検を出来る限り実施して各項目を確認し、早め早めの部品交換をして下さい。最近では部品もリサイクル品があり、新品部品の半額程度でありますので、再利用した部品も使ってみてはどうでしょうか？

これから一段と寒くなってくると、車に乗る前に暖機運転をされると思いますが、あまり長い暖気運転は、経済的にも環境的にも良くないので適度な時間をお願い致します。

吉川 文雄



## 《事故防止対策》

安全運行の推進や事故防止対策に於いて当社は、各種の団体との連携を深めながら懸命に事故防止に努めております。

福井県トラック協会主催のトラックドライバーコンテスト（153日間）無事故、無違反コンテストの参加。昨年は、16チーム80名が参加し、長丁場の無事故、無違反を参加者全員が完全達成し、業界の専門紙（物流ニッポン）に掲載され反響を頂きました。今年度も12月31日まで挑戦中であり、2年連続の無事故、無違反のパーフェクト達成の偉業を目指しております。

また、羽咋・金沢営業所では、SDラリーコンテスト（100日間）で3年連続の優秀賞を受賞しており、24年度も先日石川県トラック協会より優秀賞を受賞し、これで4年連続の無事故、無違反全員達成の偉業が達成出来ました。

『事故は起こしても起こされても嫌なものです』

車両事故はもとより現場での商品破損事故など協力会社を含めて、例えば軽微な事故であっても出来るだけ担当者が現場にすぐ伺い、事故の詳細を調査し、その状況を全社的に水平展開するように努めております。その中で事故の報告と原因の究明だけで終わらせては再発の可能性は拭い切れません。肝心なことは、再発防止の手立てとなる有効な対策を発生現場に合わせてどう定めて行くかであると思います。

現在は、事故が発生したら直ぐにその部門で緊急ミーティングを実施して具体的に対策を討議し、検討し周知徹底を図って即座に改善を図るようにしています。特に、お客様に御迷惑をお掛けした場合、迅速かつ明確に解決方法を提示して行かなければ納得して頂くことは出来ません。そのためにも緊急ミーティングを招集し、原因の追求、再発防止の対策を席上で真剣に討議します。乗務員からも厳しい意見が寄せられます。「我々はプロなのだから安全運転、安全作業が出来ない者は降車させてほしい。懸命に業務を遂行し、信頼を勝ち得るために頑張っている我々にとって大変迷惑だ。」と厳しい発言もあります。このような雰囲気の中でも部門長は、気持ちに余裕を持って安全運行をして、作業中でも平常心を持ち安全運行、安全作業を徹底するよう諭し、教育指導をして行きます。当然、会社としては運行計画も含めて、「無理をさせない」ことを重視しながら事故の削減を計る努力を続けております。

今年もあと少し、無事故、無違反で全員が頑張るとうと日々の業務に専念しております。

齋藤 洋一

本年中も皆様方には大変お世話になり有難う御座いました。と年末のご挨拶には少し早いのですが本号は今年最後の5963ハート通信でございます。先日まで暑い暑いと言い、熱中症予防と言っていた気がするのですが小さい秋は今年もあつという間に過ぎ去ろうとしています。そして冬の気配がすぐそこまでやってきました。

小学校や中学、高校生時代は毎日が新鮮で新しいことの出会い(勉強)で脳が同じ時間でも長く感じとるようで、随分長い時間を学校で過ごしたように錯覚しています。現在の今、今日、明日が新鮮ではない?と聞かれると「新鮮です」と応える筈なのですが、月日の流れは速まっていくように感じております。若くないんですかね。。

18歳で竹原運輸にご縁をいただいてから25年もの年月が経ちました。目まぐるしく変化を続ける物流業界だというのに、然程新鮮味がないのでしょうか・・振り返るとあつという間の時間です。会社には若い力が入社してきます。「最近の若い者は・・」私が入社した頃、今の私の年代の先輩からよく言われた文句です。最近では私も無意識に言っているような気がします。(笑)時代は廻り廻り面白いですね。

「最新の物流とはなんですか?」と若い社員に質問すると

「GPSを利用した情報主体の物流ですとか、コンピューターによる在庫管理や配送システムだと思います」 だそうです。

全く間違いはない回答だと思います。

「乗務員が明日する、運転、服装、挨拶が最新の物流」 と私は考えてます。

常に物流の最先端で仕事をしていると自覚させることが今の私の仕事だと思っています。決して他人任せではなく基本と規則を守ることが重要な時代なのです。

来年度も最新の笑顔と挨拶で皆様のご機嫌をお伺いいたします。そして物流のお手伝いをさせていただきます。

池上則和



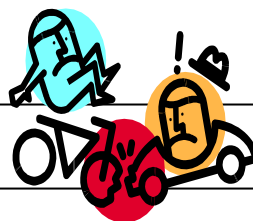
前回の通信では 10 月でも熱中症のおそれが・・・ということを書きましたが、季節は一気に変わり、毎晩「鍋」でもいいなという感じになってきましたが、皆様お元気でしょうか？

さて、今回の通信は 《人の姿が蒸発する》 という現象をお伝えしようと思います。

これは先日行われた弊社の安全大会で『事故事例から見る過失割合について』という講義の中で、中部交通共済協同組合の三上所長が言われた言葉です。それはもちろん超魔術でもなんでもなく、光のまぶしさから起こる目の障害や、状況把握の急激な低下により人の姿がまったく見えなくなるグレア現象というものだそうです。その講義の中で車に搭載された実際の映像を見せて頂いたのですが、雨の日の夜の交通量が激しい道路を、右側から左側へ歩行者が横断していると、数々の対向車のライトと自車のライト、濡れた路面、雨によりいろんな角度で光が交錯し、グレア現象により人が横断している姿が無くなり、次の瞬間いきなり自分の車の前に横断者が現れて、気が付いたと同時に歩行者を跳ね飛ばしてしまう映像でした。その映像を見て、もし自分が運転していたとしても、まったく同じことが起きたと思うとゾッとしました。と同時に、このような事故を起こさない為にはどうすればいいんだろうと真剣に考え、その為には当たり前のことですが、スピードを抑え、車間距離を十分に取り、前方はもちろん幅広く周囲の状況を確認することにより、事前に右側の歩行者の動向を認知することだと思い、それからは雨の日は特に注意をしてそれを実行しております。

年に二回開催される安全大会では、毎回いろんな事を気付かされますが、今回もまた今更ながらですが、雨の日の夜の運転が本当に怖いことを思い知りました。 皆さんも雨が降っている夜の運転には、いつも以上に気をつけて下さいね！

大橋 哲夫



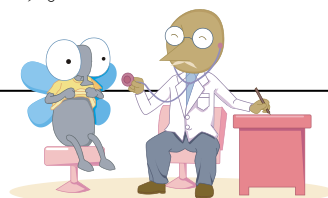
いつも大変お世話になりありがとうございます。

早いもので、今年最後のハート通信となりました。早々と今年1年を振り返ってみると、私個人では、季節はずれのインフルエンザに感染してしまった事が重大ニュースでした。と言うのも、誰も覚えていませんが昨年も予防接種をしてあっちこちで得意げに話をしたにもかかわらずの不養生だった為です。

もう一つ有りました。今月から給与明細に介護保険料が居てはりました。知らないうちに、又一つ大人の階段登ってたんですね。

11月末に会社の健康診断があります。今年は昨年より不摂生が少なかったつもり（元々少ないですが）なので、ここで重大ニュースが発生することは無いと思いますが、1年の締めくくりを笑って迎えられるように考えていたいと思います。

辻川伸吾





エコカー補助金、エコカー補助金。今、新車を買うと通常より安く買えますね。それも今年の9月まででした。安く新車を買えるということで、これを機に車を買替えようとか買替えた方もたくさんいるでしょう。

しかし、エコカー補助金を行った事によって自動車業界は来年から大変な事がおきそうです。まず、来年買う予定だった人。補助金があるということで前倒しで車を買った方もおられると思います。ということは来年車を買替える人少なくなります。これを景気の先食いというそうです。さらに不景気もあります。車を買替える人も少なくなっていて、今乗っている車を大事にして壊れたら買い換えるのではなく修理をしてまた乗るという方も増えています。最近の車は部品の精度もよくなり非常に長く壊れにくくなっています。中古車市場も長く乗る人が増えたため古い年式で走行距離もかなり走ったものが増えてきて中古車自体の質も落ちてきています。そして若者の車離れ、高齢者の免許返納など車に乗る人も減ってきています。

来年は消費税もあがり、自動車業界だけでなくいろいろな業界で苦しい年になるかもしれませんね。多種多様なサービスや商品に付随する付加価値がお客様にとって選ばれる会社となっていくのかもしれませんが。



谷口 学

皆様、いかがお過ごしでしょうか？慌ただしくなりましたが、今シーズンは暖冬かそれとも厳冬になるかどちらでしょうか？

さて、前回主人と息子が福井マラソンに出場すると書きましたが、息子は、20代男子5km部門で50位以内に入り、新聞に名前が載っておりました。(結果を聞いてびっくりしましたが・・・)

ところで主人は、今回初めて走るのを断念いたしました。今までは、足が痛くても何とか完走しておりましたが、10日程前に腰を痛め、咳をただけでも痛いという最悪の状態だったみたいです。せっかく暑い日にも練習をしましたが、体重は減ることなく、腰は痛い、足は痛いと散々でした。

来年こそは体重を落とし、少しでも足に負担をかけないようにと思っているみたいですが、腰の方も完治していないので、まずは腰を治してほしいと思っています。

主人は、早くも来年の目標が出来たみたいなので、私も何か探さなくてはと思っています。今年も残りわずかとなっておりますが、皆様も気を付けてお過ごし下さい。また来年も宜しくお願い致します。

吉川 佳代



次回お楽しみに・・・

来年が  
んばろ  
ぞ!

ヤッター!  
(息子)

